



九州キリスト 災害支援センター

KYUSHU CHRIST DISASTER RELIEF CENTER

2016.4

VOL. 1

News Letter

キリストにあってひとつ

神の愛の包囲網

九州キリスト災害支援センター 代表 横田法路

「互いの重荷を負い合いなさい。そうすれば、あなたがたはキリストの律法を全うするのである」 ガラテヤ6章2節

2016年4月14日と16日、最大震度7の激震が2度熊本と大分を襲いました。その後も度重なる余震が続き、被災地の方々、特に子どもたちの心に深い傷跡を残しました。このような大変な状況下にありながらも、熊本県教役者会は、被災者と被災教会への支援に立ち上がりました。中出牧夫師(日本ナザレン教団熊本教会)と本堀秀一師(アッセンブリー希望ヶ丘キリスト教会)を世話人とし、熊本ハーベストチャーチの中村陽志師を中心に支援が始められました。主の心と一つとなって立ち上がった群れを主は喜ばれ、主の大いなる力が注がれていきました。

しかしながら、このような支援が中長期的に継続されていくためには、バラバラの支援を続けるのではなく、キリストのからだとして協力体制を築いていくことが必要です。特に被災地以外の地域にある教会・クリスチャンがどのように関わることができるかが重要です。震災4日後の4月18日に、被災地の方々と被災地の教会を支えたいという思いを共にする方々が、九州と全国の各地から熊本の隣県である福岡に続々と集まり、主の御心を求め、賛美と祈りを共にささげました。その中で、被災地の熊本・大分の諸教会の重荷を少しでも共に負わせていただきたいという熱い思いが参加者一同に与えられ、超教派の支援団体「九州キリスト災害支援センター」が立ち上げられました。被災地熊本・大分を取り囲むようにして九州全域をつなぐ災害支援のネットワーク(鹿児島、宮崎、大分、福岡、佐賀、長崎)が誕生しました。

さらに今回の震災の地元である九州の支援体制を背後から支えようと、JEA(日本福音同盟)をはじめとする全国の多くの教団・教会(福音派、ペンテコステ派)、ビリーグラハム伝道団などが、すぐに協力を申し出て下さったことに、私たちは大きな励ましと力をいただきました。特に、キリスト教災害支援団体である日本国際飢餓対策機構、ワールドビジョン、クラッシュジャパンが、支援活動の中核である事務局を共に支えて下さっていること、それぞれの団体(Solaを含む)の強みを生かす形で子どものケアプログラムを準備・実施するなど、すばらしい協力体制で支援していただいていること、感謝にたえません。海外の教会や団体からもたくさんのボランティアが来てくださり、キリストにある世界大のネットワークが力となっています。そして東北の教会・牧師先生方からも、東日本大震災の時の経験や知恵をふんだんに分かち合ってください、実にタイムリーな慰めと励ましをいただいています。

私たちの究極の願いと祈りは、一つです。

「み名があがめられますように。み国が来ますように。み心がおこなわれますように」

長期的な戦いとなりますので、ますますのお祈りとご支援をよろしくお願い申し上げます。

■支援金口座

・ゆうちょ銀行 記号 17410 番号 89238981 九州キリスト災害支援センター

・ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込

【店名】七四八 【店番】748 【預金種目】普通預金 【口座番号】8923898

■連絡先

九州キリスト災害支援センター

・本 部 (油山シャロームチャペル内) 9:00~18:00 Tel. 092-873-6235

E-mail kyusyuchristdrc@gmail.com

・熊本支部 (ボランティア受付)

Tel. & Fax. 096-354-8855

E-mail kcdrccvolunteer@gmail.com



熊本の教会教職者、支援機関、スタッフの方々



福岡の油山シャロームチャペルでのミーティング

今回の2度の大地震によって熊本・大分の多くの教会が被災しました。しかしキリスト教会の対応は早く、速やかに協力体制が整えられ、九州の超教派の教会によって、熊本・大分の教会と被災された方々を支えるために、九州キリスト災害支援センターが立ちあげられました。そしてこの支援センターを通して日本各地からまた海外からクリスチャン団体やNGO、ボランティアの方々が熊本入りし、熊本ハーベストチャーチを現地の活動拠点として、地域の方々の支援を行っています。



緊急支援から 子どもたちの心のケアにいたるまで



活動拠点の熊本ハーベストチャーチ



被災した益城町の木山キリスト教会



日本各地から届けられた物資と仕分け作業



避難所には物資は足りているということで、被災された方々の家を戸別に訪問してまわりながら物資を配布しました。物資を取りに行けない在宅の被災者や車中泊の方々がとても喜んでくださいました。



熊本市内の江津湖団地にて、有明バイブルチャーチの協力により、豚汁とおにぎり400食分の炊き出しを行いました。住民の方々もとても喜んでいただきました。江津湖団地は約1200世帯で高齢者が多く、約100名の独り暮らしの高齢者がいらっしゃいます。現在、この地域では看護士ボランティアによる健康チェックなども行っています。



横浜から本郷台キリスト教会の方々9名が炊き出し用の材料と水他支援物資を積み込んで駆けつけてくれました。



国分寺バプテスト教会の震災子ども支援団体Sola。物資を届けに行った先で出会った子どもたち。風船やお絵かきで遊びながら、一緒に時を過ごしました。生活が整わない中で、子どもたちもストレスを抱えていることがわかります。この必要にも応えていきたい…



国際飢餓対策、ワールドビジョン、クラッシュジャパン、Solaのスタッフ達。九州キリスト災害支援センターとのすばらしい協力体制がスタートします！

最新の情報は facebook 「九州キリスト災害支援センター(略称:九キ災)」でご確認ください。
現在HPを作成中です。